

花鳥風月・俳句

綿虫ふわっと命のありにけり

越智和人

目に見えぬものにつまづき年暮るる

大銀杏風に見事な散りっぷり

鈴木伊都美

途半ばブラボーの春四年先

中味見て自然と笑顔お年玉

徳永誠一

正月や雑煮田楽「伊予美人」

田中良子

曲り道雑木紅葉に犬が吠え

山登り木々の色にも春近し

篠原 高代

出し惜しむ嫁ぐ立派な春野菜

冬晴に寒さ耐え咲く庭の花

梅の香や日々の寂しさ忘れさせ

小野 弘幸

手を合わす今年最後の寒月や

蕪の葉も細かくきざみみそ汁を

石井 トシ子

短日や老の動きの無駄ばかり

大根の肩の真白き畑の中

三浦 シズ子

どこか似た一族揃いて師走膳

落ち穂拾いの白鷺番い

霜踏んで畑仕事する着膨れて

小林 泰子

もうコタツみかんの皮が山となり

紅葉に孫のほっぺもまっかっか

落合 敦

寒空に薄紅の花咲く山茶花よ

明星 勲

慈雨ありて土も解され今朝の霜

庭の木々心許して剪定され

塗堀  
良子